

2020年3月期
決算説明資料

株式会社 紀陽銀行

【 目 次 】

1 . 2020年3月期 決算ダイジェスト	P 2 ~ 7
2 . 決算の概況		
(1) 損益状況	P 8 ~ 9
(2) 業務純益(単体)	P 1 0
(3) 利鞘(単体)	P 1 0
(4) 有価証券関係損益(単体)	P 1 0
(5) 有価証券の評価損益	P 1 1
(6) 自己資本比率(国内基準)	P 1 2
(7) RO E	P 1 3
3 . 貸出金等の状況		
(1) リスク管理債権(連結)	P 1 4
(2) リスク管理債権(単体)	P 1 5
(3) 金融再生法開示債権(単体)	P 1 6
(4) 開示債権における各種基準の比較(単体)	P 1 7
(5) 業種別貸出状況等(単体)	P 1 8
(6) 消費者ローン残高(単体)	P 1 9
(7) 中小企業等貸出比率(単体)	P 1 9
(8) 預金等、貸出金の残高(単体)	P 1 9
(9) 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)	P 1 9

(注) 1 . 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
2 . 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 2020年3月期 決算ダイジェスト

(1) 損益の状況

連結

当期の連結の経営成績は、経常利益は前期比35億円増加の216億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比20億円増加の137億円となりました。

株式等関係損益は前期比減少したものの、資金利益や国債等債券損益は前期比増加し、営業経費や与信コスト総額は前期比減少しました。

当初業績予想との比較では、経常収益は+114億円、経常利益は+33億円、親会社株主に帰属する当期純利益は+20億円となり、業績予想を上回る実績となりました。

(単位:百万円)

(前期実績との比較)	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
1 連結粗利益	55,644	3,931	51,713
2 資金利益	44,486	1,083	43,403
3 役務取引等利益	9,709	824	8,885
4 その他業務利益	1,447	2,023	576
5 うち国債等債券損益	138	1,219	1,357
6 営業経費()	34,974	813	35,787
7 一般貸倒引当金繰入額()	61	5	66
8 不良債権処理額()	2,669	878	3,547
9 (与信費用 + ())	(2,608)	(872)	(3,480)
10 うち貸出金償却()	1,862	730	2,592
11 うち個別貸倒引当金繰入額()	306	224	530
12 償却債権取立益	1,870	584	1,286
13 株式等関係損益	1,555	2,117	3,672
14 経常利益	21,686	3,528	18,158
15 特別損益	1,471	1,186	285
16 うち減損損失()	1,513	1,354	159
17 法人税、住民税及び事業税()	5,298	758	4,540
18 法人税等調整額()	1,113	472	1,585
19 親会社株主に帰属する当期純利益	13,719	2,099	11,620
20 与信コスト総額()	710	1,476	2,186

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. ()は損失項目です。

(単位:百万円)

当初業績予想(2019年5月)との比較	2020年3月期		2020年3月期
	実績	当初業績予想比	当初業績予想
1 経常収益	86,759	11,459	75,300
2 経常利益	21,686	3,386	18,300
3 親会社株主に帰属する当期純利益	13,719	2,019	11,700

単体

当期の単体の経営成績につきましては、当期純利益は、主に資金利益や国債等債券損益の増加と経費や与信コスト総額の減少により、前期比19億円増加の128億円となりました。

業務粗利益は、資金利益が増加したことなどから、前期比37億円増加の514億円となりました。資金利益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことや、預金等利息が減少したことなどから、前期比10億円増加の444億円となりました。

役員取引等利益は、事業性取引に係る手数料収入が増加したことなどから、前期比7億円増加の66億円となりました。

その他業務利益は、国債等債券売却益が増加したことなどから、前期比19億円増加の2億円となりました。

経費は、経費削減への継続的な取組みや預金保険料の減少による物件費の減少などから、前期比10億円減少の342億円となりました。

与信コスト総額は、貸出金償却が減少したことなどから、前期比14億円減少の1億円となりました。

株式等関係損益は、株式等売却益の計上が前期に比べ少額であったことなどから、前期比21億円減少の14億円となりました。

当初業績予想との比較では、第5次中期経営計画の施策に取り組んだ結果、業績予想を上回る実績となりました。

(単位:百万円)

(前期実績との比較)	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
1 業務粗利益	51,452	3,714	47,738
2 資金利益	44,496	1,063	43,433
3 うち貸出金利息	33,085	580	32,505
4 うち有価証券利息配当金	14,883	2,376	12,507
5 うち投資信託解約損益	3,318	131	3,187
6 うち預金等利息()	642	221	863
7 役員取引等利益	6,675	721	5,954
8 その他業務利益	279	1,928	1,649
9 うち国債等債券損益	138	1,219	1,357
10 経費(除く臨時処理分)()	34,217	1,008	35,225
11 人件費()	17,816	666	18,482
12 物件費()	13,777	674	14,451
13 税金()	2,622	331	2,291
14 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	17,235	4,723	12,512
15 うちコア業務純益	17,374	3,505	13,869
16 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	14,055	3,373	10,682
17 一般貸倒引当金繰入額()	37	1	36
18 業務純益	17,273	4,724	12,549
19 不良債権処理額()	1,592	731	2,323
20 (与信費用 + ())	(1,555)	(732)	(2,287)
21 うち貸出金償却()	1,245	538	1,783
22 うち個別貸倒引当金繰入額()	145	211	356
23 償却債権取立益	1,348	650	698
24 株式等関係損益	1,482	2,156	3,638
25 その他臨時損益	1,837	546	2,383
26 経常利益	20,349	3,404	16,945
27 特別損益	1,471	1,174	297
28 法人税、住民税及び事業税()	4,922	765	4,157
29 法人税等調整額()	1,057	531	1,588
30 当期純利益	12,898	1,996	10,902
31 与信コスト総額()	178	1,403	1,581

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. ()は損失項目です。

(単位:百万円)

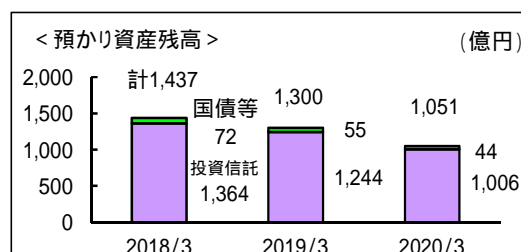
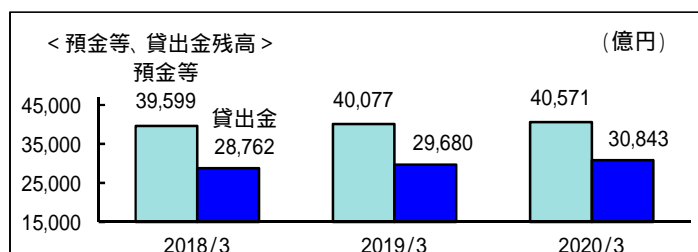
当初業績予想(2019年5月)との比較	2020年3月期		2019年3月期
	実績	当初業績予想比	
1 経常収益	77,795	11,295	66,500
2 コア業務純益	17,374	5,374	12,000
3 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	17,235	1,235	16,000
4 経常利益	20,349	3,049	17,300
5 当期純利益	12,898	1,798	11,100

(2) 主要勘定、預かり資産の状況(単体)

貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したことなどから、前期末比1,162億円増加の3兆843億円となりました。
預金・譲渡性預金合計は、前期末比494億円増加の4兆571億円となりました。

(単位:百万円)

(期末残高)	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 貸出金	3,084,322	116,297	2,968,025
2 うち消費者ローン	994,952	42,197	952,755
3 預金・譲渡性預金合計	4,057,170	49,432	4,007,738
4 うち個人預金	2,879,066	30,893	2,848,173
5 預かり資産残高	105,170	24,833	130,003
6 投資信託	100,686	23,796	124,482
7 国債等	4,484	1,036	5,520



(単位:百万円)

(期中実績)	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 預かり資産関連販売額	85,402	5,428	79,974
2 投資信託	46,407	9,099	37,308
3 証券仲介	13,438	986	14,424
4 個人年金保険等	25,556	2,685	28,241

(3) 有価証券の状況(単体)

当期は、期中に有価証券売却益の確保を進めたことや、株式相場が軟調に推移したことなどから、その他有価証券評価差額は、前期末比275億円減少し、85億円の評価益となりました。

<その他有価証券で時価のあるもの>

(単位:百万円)

	2020年3月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
1 株式	9,886	12,737	12,286	2,399	22,623	23,145	521
2 国内債券	4,283	5,982	5,405	1,121	10,265	10,332	67
3 外国債券	3,154	89	3,749	594	3,065	3,173	107
4 その他	9,093	8,447	656	9,750	646	2,460	3,106
5 うち投資信託	9,127	8,452	622	9,750	675	2,427	3,103
6 小計	8,231	27,077	22,097	13,866	35,308	39,111	3,803
7 保有目的区分の変更による評価差額	367	458	367	-	825	825	-
8 合計	8,598	27,536	22,465	13,866	36,134	39,937	3,803

(4) 不良債権(金融再生法開示債権)の状況(単体)

お取引先の情報蓄積、強み・弱みの把握などに基づく事業性評価を重視した融資や、経営改善支援及び事業再生支援の積極的な取組みを通じて、お取引先や地域の発展に貢献すべく活動を行ってまいりました。

このような活動の結果、金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末比で18億円減少し、631億円となりました。また、不良債権比率は、前期末比で0.14%低下し、2.01%となりました。

なお、当期末の引当率は48.2%、保全率は79.7%となりました。

不良債権(金融再生法開示債権)の状況

(単位:百万円)

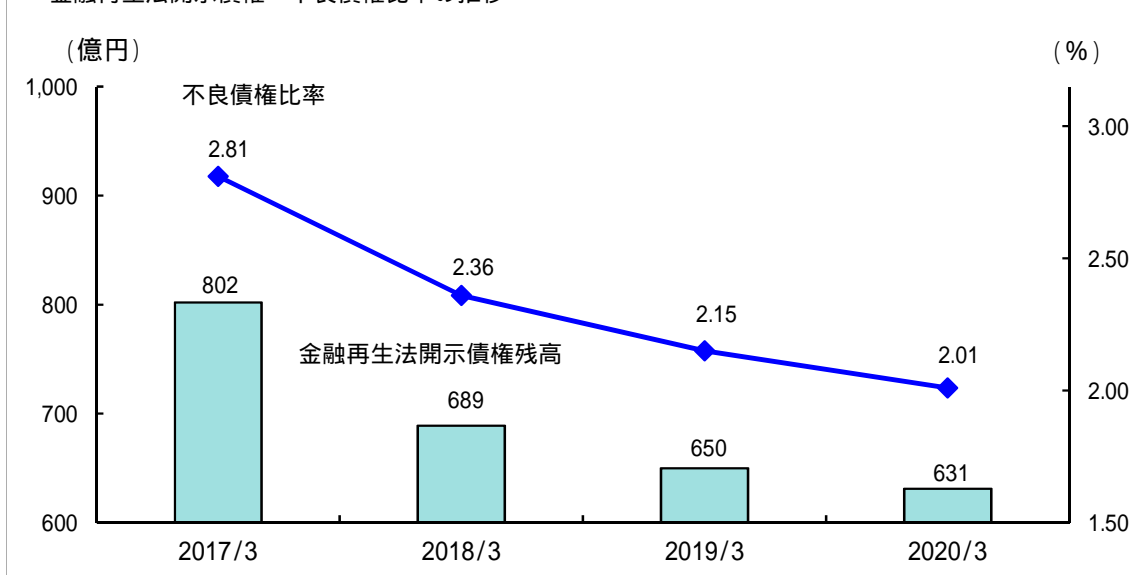
	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,786	2,339	18,125
2 危険債権	42,425	1,727	40,698
3 要管理債権	4,938	1,268	6,206
4 小計(不良債権)	63,149	1,881	65,030
5 正常債権	3,071,670	123,575	2,948,095
6 合計	3,134,819	121,693	3,013,126
7 再生法開示債権比率(不良債権比率)	2.01%	0.14%	2.15%

保全状況

(単位:百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
1 不良債権額	63,149	1,881	65,030
2 担保・保証等	38,436	1,608	40,044
3 不良債権額のうち、担保・保証等によりカバーされていない部分	24,713	273	24,986
4 貸倒引当金	11,930	561	12,491
5 引当率	48.2%	1.7%	49.9%
6 保全率	79.7%	1.0%	80.7%

<金融再生法開示債権・不良債権比率の推移>



(5) 自己資本比率の状況

自己資本比率(国内基準)につきましては、2019年9月末より、信用リスク計測手法を、「標準的手法」から「基礎的内部格付手法」に変更しております。手法の変更に伴い、リスク・アセット等が減少したことなどから、連結自己資本比率は9.96%(前期末比+0.64%)、単体自己資本比率は9.49%(前期末比+0.59%)となりました。

連結

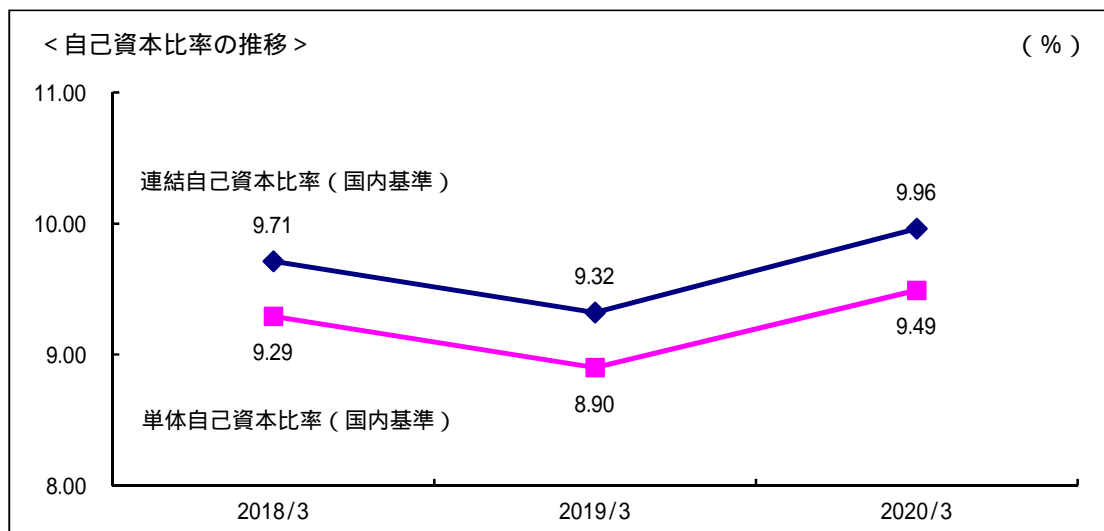
(単位:百万円)

	2020年3月末 (速報値)	2019年3月末比	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	9.96%	0.64%	9.32%
2 自己資本(3-4)	201,712	1,016	202,728
3 コア資本に係る基礎項目	213,491	3,996	217,487
4 コア資本に係る調整項目	11,778	2,981	14,759
5 リスク・アセット等	2,024,813	149,527	2,174,340
6 総所要自己資本額(5×4%)	80,992	5,981	86,973

単体

(単位:百万円)

	2020年3月末 (速報値)	2019年3月末比	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	9.49%	0.59%	8.90%
2 自己資本(3-4)	189,296	3,461	192,757
3 コア資本に係る基礎項目	199,549	1,619	201,168
4 コア資本に係る調整項目	10,253	1,842	8,411
5 リスク・アセット等	1,992,963	172,242	2,165,205
6 総所要自己資本額(5×4%)	79,718	6,890	86,608



(6) 2021年3月期 業績予想・配当予想

業績予想

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を現時点で見通すことが困難であるものの、年度後半にかけて経済活動は持ち直していくことを前提としております。

経常収益につきましては、有価証券関係収益が前期比減少する見込みであることなどから、前期比減少することを見込んでおります。

貸出金利息につきましては、一定の利回低下を見込んでおりますが、残高の増加により前期比増加することを見込んでおります。

役員取引等収益につきましては、営業活動に制約を受ける影響から前期比減少することを見込んでおります。

与信コストにつきましては、前提を踏まえ見積りを行った結果、前期比増加することを見込んでおります。

有価証券関係損益につきましては、一部売却益を見込んでおります。

これらを踏まえ、2021年3月期通期業績予想につきましては、連結経常利益148億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円の見込となりますが、国内において感染拡大が長期化もしくは深刻化するなど前提条件からの乖離が生じ、業績に与える影響が重大と見込まれる場合につきましては速やかに開示いたします。

(単位:億円)

(連結)	実績	予想	
	2020年3月期通期	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期通期
1 経常収益	867	367	749
2 経常利益	216	80	148
3 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	137	57	100

(単位:億円)

(単体)	実績	予想	
	2020年3月期通期	2021年3月期 第2四半期累計期間	2021年3月期通期
1 経常収益	777	325	655
2 コア業務純益	173	55	123
3 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	140	55	123
4 実質業務純益(コア業務純益+国債等債券損益)	172	72	160
5 経常利益	203	76	138
6 当期(中間)純利益	128	54	94
7 与信コスト総額()	1	16	54

配当予想

2021年3月期の普通株式配当金につきましては、2020年3月期に引き続き、年間35円を期末一括でお支払いさせていただき予定です。

	2021年3月期通期		
	中間	期末	
1 普通株式	-	35円00銭	35円00銭

2. 決算の概況

(1) 損益状況

【連結】

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
1 連結粗利益	55,644	3,931	51,713
2 資金利益	44,486	1,083	43,403
3 役務取引等利益	9,709	824	8,885
4 その他業務利益	1,447	2,023	576
5 うち国債等債券損益	138	1,219	1,357
6 営業経費()	34,974	813	35,787
7 一般貸倒引当金繰入額()	61	5	66
8 不良債権処理額()	2,669	878	3,547
9 (与信費用 + ())	(2,608)	(872)	(3,480)
10 貸出金償却()	1,862	730	2,592
11 個別貸倒引当金繰入額()	306	224	530
12 その他の不良債権処理額()	500	76	424
13 償却債権取立益	1,870	584	1,286
14 株式等関係損益	1,555	2,117	3,672
15 その他	199	555	754
16 経常利益	21,686	3,528	18,158
17 特別損益	1,471	1,186	285
18 うち減損損失()	1,513	1,354	159
19 税金等調整前当期純利益	20,214	2,341	17,873
20 法人税等合計()	6,412	287	6,125
21 法人税、住民税及び事業税()	5,298	758	4,540
22 法人税等調整額()	1,113	472	1,585
23 当期純利益	13,802	2,055	11,747
24 非支配株主に帰属する当期純利益()	82	45	127
25 親会社株主に帰属する当期純利益	13,719	2,099	11,620
26 与信コスト総額()	710	1,476	2,186

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. ()は損失項目です。

(連結対象会社数)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
1 連結子会社数	6	-	6
2 持分法適用会社数	-	-	-

【単体】

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
1 業務粗利益	51,452	3,714	47,738
2 (除く 国債等債券損益)	51,591	2,496	49,095
3 資金利益	44,496	1,063	43,433
4 うち貸出金利息	33,085	580	32,505
5 うち有価証券利息配当金	14,883	2,376	12,507
6 うち投資信託解約損益	3,318	131	3,187
7 うち預金等利息 ()	642	221	863
8 役務取引等利益	6,675	721	5,954
9 その他業務利益	279	1,928	1,649
10 国内業務粗利益	45,660	2,026	47,686
11 (除く 国債等債券損益)	49,230	2,177	47,053
12 資金利益	42,611	1,453	41,158
13 役務取引等利益	6,613	719	5,894
14 その他業務利益	3,564	4,197	633
15 (うち 国債等債券損益)	3,570	4,203	633
16 国際業務粗利益	5,792	5,741	51
17 (除く 国債等債券損益)	2,360	318	2,042
18 資金利益	1,885	389	2,274
19 役務取引等利益	62	2	60
20 その他業務利益	3,844	6,126	2,282
21 (うち 国債等債券損益)	3,431	5,421	1,990
22 経費 (除く 臨時処理分) ()	34,217	1,008	35,225
23 人件費 ()	17,816	666	18,482
24 物件費 ()	13,777	674	14,451
25 税金 ()	2,622	331	2,291
26 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	17,235	4,723	12,512
27 うちコア業務純益	17,374	3,505	13,869
28 うちコア業務純益 (除く 投資信託解約損益)	14,055	3,373	10,682
29 一般貸倒引当金繰入額 ()	37	1	36
30 業務純益	17,273	4,724	12,549
31 うち国債等債券損益	138	1,219	1,357
32 臨時損益	3,076	1,320	4,396
33 不良債権処理額 ()	1,592	731	2,323
34 (与信費用 + ())	(1,555)	(732)	(2,287)
35 貸出金償却 ()	1,245	538	1,783
36 個別貸倒引当金繰入額 ()	145	211	356
37 貸出債権譲渡損 ()	0	0	-
38 その他の不良債権処理額 ()	200	16	184
39 償却債権取立益	1,348	650	698
40 株式等関係損益	1,482	2,156	3,638
41 株式等売却益	4,020	1,176	5,196
42 株式等売却損 ()	2,435	979	1,456
43 株式等償却 ()	102	1	101
44 その他臨時損益	1,837	546	2,383
45 経常利益	20,349	3,404	16,945
46 特別損益	1,471	1,174	297
47 固定資産処分損益	41	167	126
48 減損損失 ()	1,513	1,343	170
49 税引前当期純利益	18,878	2,230	16,648
50 法人税等合計 ()	5,979	233	5,746
51 法人税、住民税及び事業税 ()	4,922	765	4,157
52 法人税等調整額 ()	1,057	531	1,588
53 当期純利益	12,898	1,996	10,902
54 与信コスト総額 ()	178	1,403	1,581

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. ()は損失項目です。

(2) 業務純益(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 コア業務純益	17,374	3,505	13,869
2 職員一人当たり(千円)	7,610	1,703	5,907
3 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14,055	3,373	10,682
4 職員一人当たり(千円)	6,156	1,607	4,549
5 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	17,235	4,723	12,512
6 職員一人当たり(千円)	7,549	2,220	5,329
7 業務純益	17,273	4,724	12,549
8 職員一人当たり(千円)	7,565	2,221	5,344

(3) 利鞘(単体)

(単位:%)

(全体)		2020年3月期	2019年3月期	
			2019年3月期比	2019年3月期
1	資金運用利回 (A)	1.20	0.02	1.18
2	貸出金利回 (B)	1.09	0.03	1.12
3	有価証券利回	1.53	0.20	1.33
4	資金調達原価 (C)	0.83	0.00	0.83
5	預金等原価 (D)	0.85	0.05	0.90
6	預金等利回	0.01	0.01	0.02
7	経費率	0.84	0.04	0.88
8	外部負債利回	0.00	0.00	0.00
9	総資金利鞘 (A) - (C)	0.37	0.02	0.35
10	預貸金利鞘 (B) - (D)	0.24	0.02	0.22

(単位:%)

(国内業務部門)		2020年3月期	2019年3月期	
			2019年3月期比	2019年3月期
1	資金運用利回 (A)	1.12	0.02	1.10
2	貸出金利回 (B)	1.08	0.03	1.11
3	有価証券利回	1.35	0.17	1.18
4	資金調達原価 (C)	0.77	0.03	0.80
5	預金等原価 (D)	0.84	0.04	0.88
6	預金等利回	0.01	0.00	0.01
7	経費率	0.83	0.03	0.86
8	総資金利鞘 (A) - (C)	0.35	0.05	0.30
9	預貸金利鞘 (B) - (D)	0.24	0.01	0.23

(4) 有価証券関係損益(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 国債等債券損益(債券5勘定戻)	138	1,219	1,357
2 売却益	10,139	7,773	2,366
3 償還益	167	167	-
4 売却損()	10,445	6,727	3,718
5 償還損()	-	-	-
6 償却()	-	5	5

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 株式等関係損益(株式3勘定戻)	1,482	2,156	3,638
2 売却益	4,020	1,176	5,196
3 売却損()	2,435	979	1,456
4 償却()	102	1	101

(5) 有価証券の評価損益

有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

評価損益

(単位:百万円)

(連結)		2020年3月末				2019年3月末		
		評価損益	2019年 3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
1	満期保有目的	158	215	158	-	57	28	86
2	その他有価証券	8,895	27,082	22,761	13,866	35,977	39,780	3,803
3	保有目的区分の変更による評価差額(注2)	367	458	367	-	825	825	-
4	合計	9,421	27,324	23,288	13,866	36,745	40,634	3,889
5	株式	10,550	12,742	12,950	2,399	23,292	23,813	521
6	債券	4,442	5,765	5,564	1,121	10,207	10,360	153
7	その他	5,938	8,357	4,406	10,345	2,419	5,633	3,214
8	保有目的区分の変更による評価差額(注2)	367	458	367	-	825	825	-

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額(時価)と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、2020年3月末 6,299百万円、2019年3月末 26,830百万円であります。

(単位:百万円)

(単体)		2020年3月末				2019年3月末		
		評価損益	2019年 3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
1	満期保有目的	158	215	158	-	57	28	86
2	その他有価証券	8,231	27,077	22,097	13,866	35,308	39,111	3,803
3	保有目的区分の変更による評価差額(注2)	367	458	367	-	825	825	-
4	合計	8,757	27,319	22,624	13,866	36,076	39,965	3,889
5	株式	9,886	12,737	12,286	2,399	22,623	23,145	521
6	債券	4,442	5,765	5,564	1,121	10,207	10,360	153
7	その他	5,938	8,357	4,406	10,345	2,419	5,633	3,214
8	保有目的区分の変更による評価差額(注2)	367	458	367	-	825	825	-

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額(時価)と取得原価との差額を計上しております。
2. 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。
3. 純資産の部に計上している「その他有価証券評価差額金」は、2020年3月末 6,093百万円、2019年3月末 26,623百万円であります。

(6)自己資本比率(国内基準)

【算出方法】

信用リスク	基礎的内部格付手法
オペレーショナル・リスク	粗利益配分手法

(注)2019年9月末より、信用リスク計測手法を、「標準的手法」から「基礎的内部格付手法」に変更しております。

(単位:百万円)

	(連結)	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	自己資本比率(2÷9)	9.96%	0.64%	9.32%
2	自己資本(3-8)	201,712	1,016	202,728
3	コア資本に係る基礎項目	213,491	3,996	217,487
4	うち引当金	3,465	5,003	8,468
5	一般貸倒引当金	94	8,374	8,468
6	適格引当金	3,370		
7	うち適格旧資本調達手段	-	5,000	5,000
8	コア資本に係る調整項目	11,778	2,981	14,759
9	リスク・アセット等	2,024,813	149,527	2,174,340
10	信用リスク	1,928,919	150,598	2,079,517
11	オペレーショナル・リスク	95,894	1,072	94,822
12	総所要自己資本額(9×4%)	80,992	5,981	86,973

(単位:百万円)

	(単体)	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	自己資本比率(2÷9)	9.49%	0.59%	8.90%
2	自己資本(3-8)	189,296	3,461	192,757
3	コア資本に係る基礎項目	199,549	1,619	201,168
4	うち引当金	9	6,641	6,650
5	一般貸倒引当金	9	6,641	6,650
6	適格引当金	-		
7	うち適格旧資本調達手段	-	5,000	5,000
8	コア資本に係る調整項目	10,253	1,842	8,411
9	リスク・アセット等	1,992,963	172,242	2,165,205
10	信用リスク	1,904,379	173,234	2,077,613
11	オペレーショナル・リスク	88,584	993	87,591
12	総所要自己資本額(9×4%)	79,718	6,890	86,608

(7) ROE

(単位: %)

(連結)	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース(注1)	6.11	1.03	5.08

(注1) $\frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\{(\text{期首純資産の部合計} - \text{新株予約権} - \text{非支配株主持分}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{新株予約権} - \text{非支配株主持分})\} \div 2} \times 100$

(単位: %)

(単体)	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 業務純益ベース(注2)	8.11	2.30	5.81
2 当期純利益ベース(注3)	6.05	1.00	5.05

(注2) $\frac{\text{業務純益}}{\{(\text{期首純資産の部合計} - \text{新株予約権}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{新株予約権})\} \div 2} \times 100$

(注3) $\frac{\text{当期純利益}}{\{(\text{期首純資産の部合計} - \text{新株予約権}) + (\text{期末純資産の部合計} - \text{新株予約権})\} \div 2} \times 100$

3. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権(連結)

* 部分直接償却実施後

* 未収利息計上基準:自己査定ベース

リスク管理債権の状況

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	リスク管理債権			
	破綻先債権額	1,716	301	1,415
2	延滞債権額	55,879	761	56,640
3	3カ月以上延滞債権額	4	762	766
4	貸出条件緩和債権額	6,114	694	6,808
5	合計	63,715	1,916	65,631

(注) 部分直接償却による減少額

2020年3月末:破綻先債権額 5,674百万円、延滞債権額 8,543百万円

2019年3月末:破綻先債権額 5,259百万円、延滞債権額 10,759百万円

(単位:百万円)

6	貸出金残高(未残)	3,072,120	112,778	2,959,342
---	-----------	-----------	---------	-----------

(単位:%)

7	貸出金残高比			
	破綻先債権額	0.05	0.01	0.04
8	延滞債権額	1.81	0.10	1.91
9	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.02	0.02
10	貸出条件緩和債権額	0.19	0.04	0.23
11	合計	2.07	0.14	2.21

貸倒引当金等の状況

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	貸倒引当金合計	22,991	722	23,713
2	一般貸倒引当金	7,970	62	8,032
3	個別貸倒引当金	15,021	660	15,681
4	特定海外債権引当勘定	-	-	-

リスク管理債権に対する引当率

(単位:%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	部分直接償却前	47.95	0.83	48.78
2	部分直接償却後	36.08	0.05	36.13

(注) 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

(2) リスク管理債権(単体)

* 部分直接償却実施後

* 未収利息計上基準:自己査定ベース

リスク管理債権の状況

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	リスク管理債権			
	破綻先債権額	1,969	176	1,793
2	延滞債権額	56,075	750	56,825
3	3カ月以上延滞債権額	4	762	766
4	貸出条件緩和債権額	4,933	507	5,440
5	合計	62,982	1,843	64,825

(注) 部分直接償却による減少額

2020年3月末:破綻先債権額 4,767百万円、延滞債権額 7,878百万円

2019年3月末:破綻先債権額 4,295百万円、延滞債権額 10,058百万円

(単位:百万円)

6	貸出金残高(未残)	3,084,322	116,297	2,968,025
---	-----------	-----------	---------	-----------

(単位:%)

7	貸出金残高比			
	破綻先債権額	0.06	0.00	0.06
8	延滞債権額	1.81	0.10	1.91
9	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.02	0.02
10	貸出条件緩和債権額	0.15	0.03	0.18
11	合計	2.04	0.14	2.18

貸倒引当金等の状況

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	貸倒引当金合計	20,301	670	20,971
2	一般貸倒引当金	6,176	37	6,213
3	個別貸倒引当金	14,125	633	14,758
4	特定海外債権引当勘定	-	-	-

リスク管理債権に対する引当率

(単位:%)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	部分直接償却前	43.78	0.95	44.73
2	部分直接償却後	32.23	0.12	32.35

(注) 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

(3) 金融再生法開示債権(単体)

* 部分直接償却実施後

金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,786	2,339	18,125
2 危険債権	42,425	1,727	40,698
3 要管理債権	4,938	1,268	6,206
4 小計	63,149	1,881	65,030
5 (合計債権残高に占める比率)	(2.01%)	(0.14%)	(2.15%)
6 正常債権	3,071,670	123,575	2,948,095
7 合計	3,134,819	121,693	3,013,126

(注) 部分直接償却による減少額

2020年3月末: 12,764百万円、2019年3月末: 14,398百万円

金融再生法開示債権の保全状況

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 保全額	50,367	2,168	52,535
2 貸倒引当金	11,930	561	12,491
3 担保・保証等	38,436	1,608	40,044
4 保全率 /	79.7%	1.0%	80.7%

< 2020年3月末 >

(単位:百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
1 債権額(A)	15,786	42,425	4,938	63,149
2 担保・保証等(B)	15,307	21,678	1,450	38,436
3 (B)によりカバーされていない部分 (C) = (A) - (B)	478	20,746	3,487	24,713
4 対象債権に対する貸倒引当金(D)	478	10,864	587	11,930
5 引当率(D) / (C)	100.0%	52.3%	16.8%	48.2%
6 保全率(B + D) / (A)	100.0%	76.7%	41.2%	79.7%

< 2019年3月末 >

(単位:百万円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
1 債権額(A)	18,125	40,698	6,206	65,030
2 担保・保証等(B)	15,918	22,135	1,990	40,044
3 (B)によりカバーされていない部分 (C) = (A) - (B)	2,207	18,563	4,216	24,986
4 対象債権に対する貸倒引当金(D)	2,207	9,545	738	12,491
5 引当率(D) / (C)	100.0%	51.4%	17.5%	49.9%
6 保全率(B + D) / (A)	100.0%	77.8%	43.9%	80.7%

(4) 開示債権における各種基準の比較(単体)

<2020年3月末>

自己査定結果				
債務者区分 与信残高	分類			
	非分類	分類	分類	分類
破綻先 19	4	14	- (1)	- (-)
実質破綻先 138	125	12	- (3)	- (-)
破綻懸念先 422	256	67	98 (108)	
要管理先 68	15	53		
			要管理先 以外の 要注意先 2,858	695
正常先 27,470	27,470			
合計 30,978	28,568	2,311	98 (113)	- (-)

金融再生法開示債権			
区分 与信残高	担保・ 保証等 による 保全額	引当額	保全率
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 157	153	4	100.0%
危険債権 424	216	108	76.7%
要管理債権 49	14	5	41.2%
小計(A) 631	384	119	79.7%
正常債権 30,716			
総与信(B) 31,348			

(単位:億円)

リスク管理債権	
区分	貸出金
破綻先債権	19

延滞債権	560
------	-----

3カ月以上 延滞債権 貸出条件 緩和債権	0 49
-------------------------------	---------

リスク 管理債権 合計(C)	629
----------------------	-----

貸出金 残高(D)	30,843
--------------	--------

総与信に占める
金融再生法開示
債権の割合
(A) ÷ (B) 2.01%

貸出金に占める
リスク管理債権
の割合
(C) ÷ (D) 2.04%

(注) 1. 対象債権

・金融再生法開示債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、未収利息及び貸出金に準ずる仮払金等を対象としております。

・リスク管理債権：貸出金を対象としております。

2. 要管理債権と要管理先債権の違いについて

要管理債権は貸出債権単位の集計であり、要管理先債権は要管理債権を有する債務者への総与信の集計であります。

3. 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先の自己査定結果における分類額

非分類額：引当金、優良担保(預金等)・優良保証(信用保証協会等)等でカバーされている債権

分類額：不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権

・分類額：全額または必要額について償却・引当を実施、引当済分は非分類に計上
(破綻先及び実質破綻先については全額償却・引当済)

4. 自己査定結果における()内は、分類額に対する引当額であります。

(5) 業種別貸出状況等(単体)

業種別貸出金

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	3,084,322	116,297	2,968,025
2	製造業	376,801	4,072	380,873
3	農業、林業	1,570	446	2,016
4	漁業	693	5	698
5	鉱業、採石業、砂利採取業	3,251	136	3,387
6	建設業	104,434	1,155	103,279
7	電気・ガス・熱供給・水道業	44,423	11,378	33,045
8	情報通信業	21,346	747	20,599
9	運輸業、郵便業	87,208	6,132	93,340
10	卸売業、小売業	326,060	2,755	323,305
11	金融業、保険業	97,115	6,113	91,002
12	不動産業、物品賃貸業	482,025	53,661	428,364
13	各種サービス業	257,205	12,369	244,836
14	地方公共団体	402,544	6,209	396,335
15	その他	879,647	32,701	846,946

業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

		2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
1	国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	62,982	1,843	64,825
2	製造業	13,814	1,035	12,779
3	農業、林業	57	507	564
4	漁業	24	1	25
5	鉱業、採石業、砂利採取業	528	185	343
6	建設業	4,037	869	4,906
7	電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
8	情報通信業	222	6	216
9	運輸業、郵便業	2,345	694	1,651
10	卸売業、小売業	10,496	727	11,223
11	金融業、保険業	7	101	108
12	不動産業、物品賃貸業	14,899	532	15,431
13	各種サービス業	11,157	281	10,876
14	地方公共団体	-	-	-
15	その他	5,389	1,309	6,698

(6) 消費者ローン残高(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 消費者ローン残高	994,952	42,197	952,755
2 住宅ローン残高	820,618	30,320	790,298
3 その他ローン残高	174,334	11,878	162,456

(7) 中小企業等貸出比率(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 中小企業等貸出金残高	2,246,936	108,067	2,138,869
2 中小企業等貸出比率	72.8%	0.8%	72.0%

(8) 預金等、貸出金の残高(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 預金等(期末残高)	4,057,170	49,432	4,007,738
2 預金	3,987,606	59,863	3,927,743
3 譲渡性預金	69,563	10,431	79,994
4 預金等(期中平残)	4,053,716	59,601	3,994,115
5 預金	3,976,670	49,055	3,927,615
6 譲渡性預金	77,045	10,546	66,499
7 貸出金(期末残高)	3,084,322	116,297	2,968,025
8 貸出金(期中平残)	3,026,182	117,773	2,908,409

(9) 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末	
		2019年3月末比	2019年3月末
1 預かり資産残高(期末残高)	105,170	24,833	130,003
2 投資信託	100,686	23,796	124,482
3 国債等	4,484	1,036	5,520

(単位:百万円)

	2020年3月期	2019年3月期	
		2019年3月期比	2019年3月期
1 預かり資産関連販売額	85,402	5,428	79,974
2 投資信託	46,407	9,099	37,308
3 証券仲介	13,438	986	14,424
4 個人年金保険等	25,556	2,685	28,241

当行は、「地域における更なる存在感の向上と収益力の強化の両立」を基本方針に定め、「中小企業取引において圧倒的競争力を有する地方銀行を目指す」ことを主要テーマとして掲げるとともに、「主要戦略 Action ~ 中小企業向け貸出を起点としたビジネスモデルの深化~」及び「主要戦略 Change ~ 競争力を拡大する新しい営業体制の構築~」への取組みを通じて、「どんな課題にも本気で向き合い、お客様の期待をこえる銀行」となることを約束いたします。

これらの取組みの結果、当期の経営成績は、経常利益は前期比34億円増加の203億円、当期純利益は前期比19億円増加の128億円となりました。

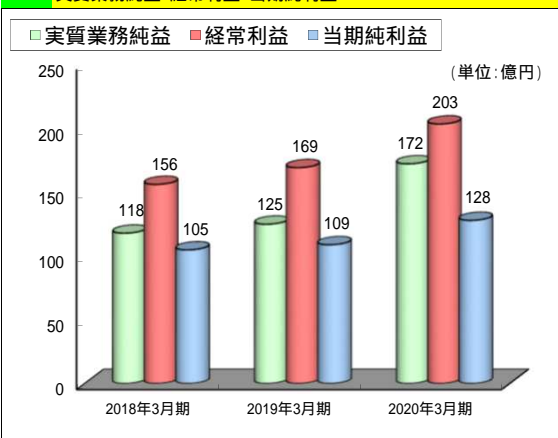
<業績概要(単体)>

(単位:億円)

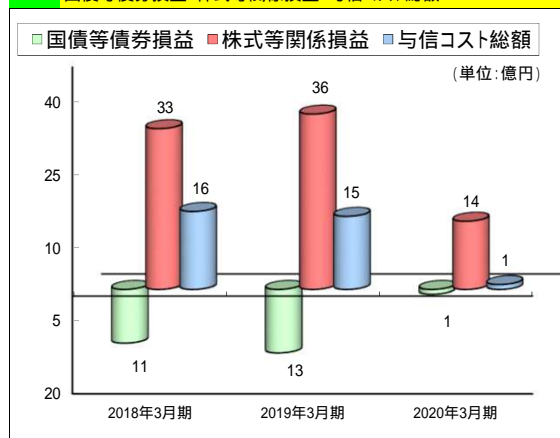
	2020年3月期	前期比	2019年3月期
	1 業務粗利益	514	37
2 資金利益	444	10	434
3 うち貸出金利息	330	5	325
4 うち有価証券利息配当金	148	23	125
5 うち投資信託解約損益	33	2	31
6 うち預金等利息()	6	2	8
7 役務取引等利益	66	7	59
8 その他業務利益	2	18	16
9 うち国債等債券損益	1	12	13
10 経費()	342	10	352
11 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	172	47	125
12 うちコア業務純益	173	35	138
13 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	140	34	106
14 一般貸倒引当金繰入額()	0	0	0
15 業務純益	172	47	125
16 臨時損益	30	13	43
17 うち不良債権処理額()	15	8	23
18 うち償却債権取立益	13	7	6
19 うち株式等関係損益	14	22	36
20 経常利益	203	34	169
21 特別損益	14	12	2
22 法人税等()	59	2	57
23 当期純利益	128	19	109
24 与信コスト総額()	1	14	15

<業績推移(単体)>

実質業務純益・経常利益・当期純利益



国債等債券損益・株式等関係損益・与信コスト総額

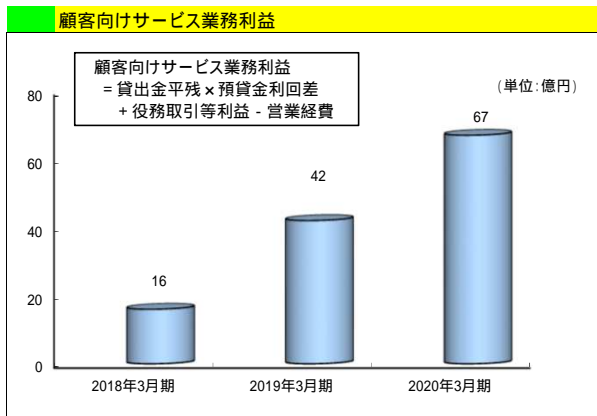


<期末配当金>

2020年3月期 普通株式 1株につき35円(期末一括)を予定しております。

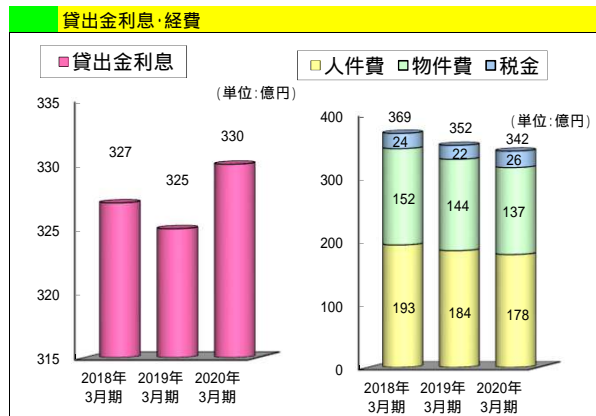
(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<顧客向けサービス業務利益>

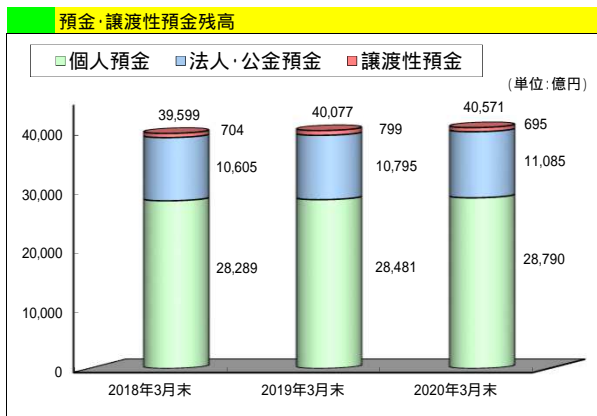


「顧客向けサービス業務利益」につきましては、貸出金利息が増加し経費が減少したことなどから、前期比2.5億円増加の67億円となりました。この「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

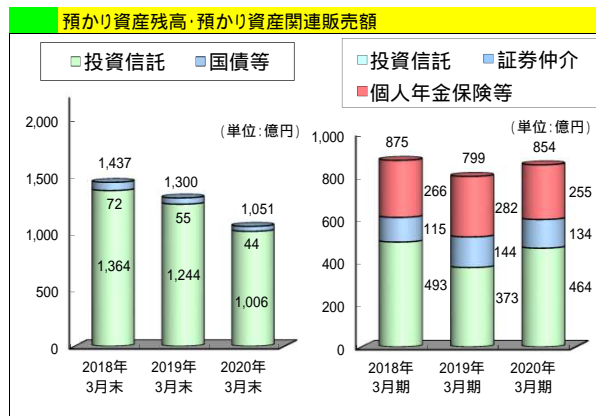
<貸出金利息・経費(単体)>



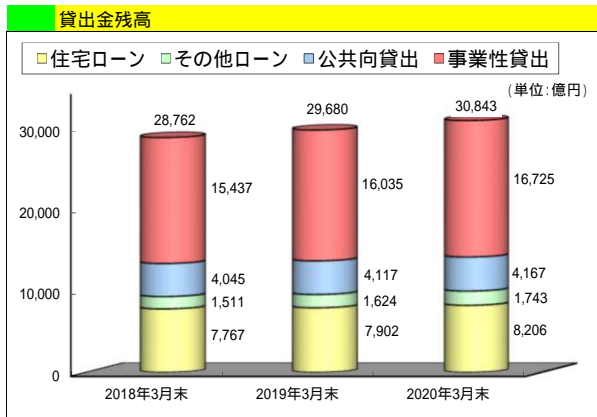
<預金等(単体)>



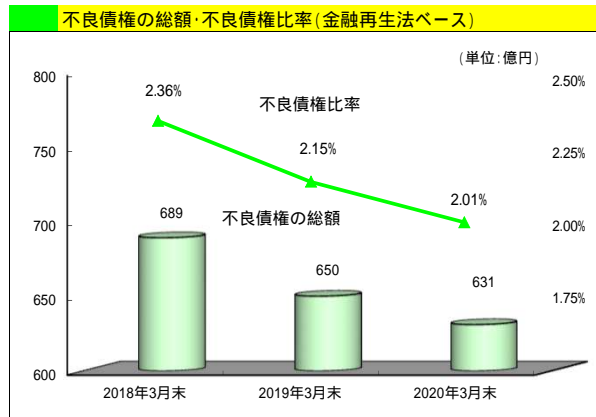
<預かり資産(単体)>



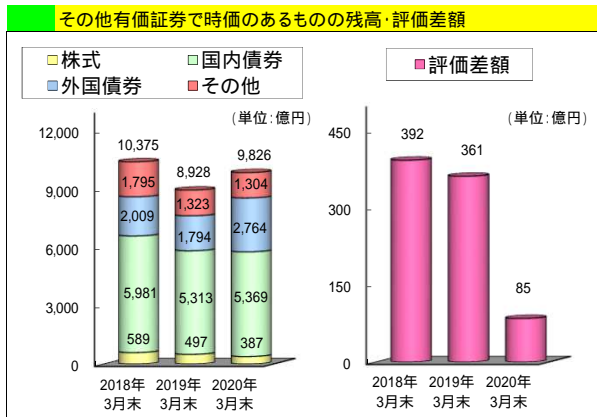
<貸出金(単体)>



<不良債権(単体)>



<有価証券(単体)>



<自己資本比率>

